

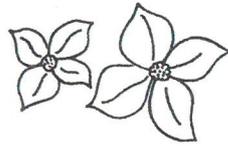


<教育・保育理念>
受容・信頼・貢献感

いきよう
からいっぱい
ちぶんらしく
まっすぐに



やまぼうし



〒669-4321
兵庫県丹波市市島町上垣138-1
(☎) 0795-85-2330
(fax) 0795-85-2335
<http://www.ichijima-kodomoen.com>

こどもHP



社会福祉法人 市島福祉会
認定こども園 いちじまこども園

様々な表現（言葉）

子どもは自分の思いを様々な方法で伝えてきます。怒ったり、泣いたり、体に触れてきたり、ギョッと抱きついてきたり、言葉で表現できない気持ちや何らかの方法で表現しようとする毎日必死です。しかし、言葉を獲得するうちに、少しずつ自分なりの言葉を使って表現しようとしています。

その獲得しようとしている今、子どものそばにいる大人たちが互いにどんな言葉を使って会話しているか、また子どもにどんな言葉をかけるかによって、子どもの語彙は変わります。私たちは子どもが正しい言葉を使い、自分の素直な思いを言葉で表現できるようにしなくてはなりません。

そこで保育者は一人一人にあつた言葉を考え、選びながら言葉をかけています。そしてどんなに小さな言葉でも、子どもからの言葉は丁寧に聞き「自分の思いが届く喜びや安心感」を感じられるように努力しています。その安心感や喜びこそ、今後子どもたちが自信を持って発言し、思いを表現していくための土台となるのだと考えています。

手遊びや普段の言葉を聞いて学んでいる0、1歳児です。



紙芝居や絵本は言葉のシャワー♪



ごはんの時は楽しく♪



ドングリは色々な形があるね



クッキーはどんな風に焼けるのかな？



▲4、5歳児は形の違いや物の形状など細かな表現を丁寧に伝え合えるようにしたいと思います。

倉橋惣三の言葉

我々は幼児を愛する人で

なければならぬ。

我々は幼児のためを思う人で

なければならぬ。

しかも、それだけでは足らぬ。

我々は幼児を尊重する人で

なければならぬ。

幼児を尊重するということには、

いろいろな意味を含む。

第一、幼児を一個の人格として

尊重することである。

「幼稚園雑草」より

倉橋惣三(1882、1955)

「日本のフレイベル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

